

2019年度 松本盲学校グランドデザイン

【学校目標と具体的なねがい】

- ◎育む友情 ⇒ 人との関わり・コミュニケーション力の向上、思いやる心
- ◎元気なからだ ⇒ 日常的な健康管理、体力の維持・向上、障がいの自己理解
- ◎確かな学び ⇒ 一人ひとりにあった適切な教育課程、自ら考え自ら学ぶ力

～長野県特別支援学校重点目標～

- <目指す学校像1>一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校
- ・重点1) 多様な教育的ニーズに対応する専門性
 - ・重点2) 特別支援学校の環境整備の充実
 - ・重点3) 教育課程編成の見直し
- <目指す学校像2>地域や企業とつながり、インクルーシブな社会をリードする特別支援学校
- ・重点4) 小中学校とのシームレスな関係の構築
 - ・重点5) 社会をインクルーシブに変革

<中間目標・目指す学校像>

1. 適切な支援を追求する人権意識の高い学校。
2. 自ら夢を描いてそれを実現する、自己有能感を
感じながら活躍できる学校。
3. 共生社会の一員として強く生きていこうとす
る意識と実践力を育てる学校。
4. 視覚障がい教育のセンターとして、専門性の
いっそうの向上を目指す学校。
5. コミュニティスクール化の一層の推進を図り
地域作りに貢献し、地域を支える人材の育成。

*本校の目指す目標を達成することで、県特別支援学校の重点目標にも繋がると考える。

【目指す学校像2】

「地域や企業とつながり、インクルーシブな社会をリードする特別支援学校」

【重点1】非違行為と学校事故の発生0(ゼロ)を実現する。

- (1) 非違行為防止研修と学校安全衛生委員会の充実と日常的な点検を行う。
- (2) 校内ルールの定期的な確認を行う。
- (3) 時間外勤務、月平均45時間以内の達成。

【重点2】新学習指導要領への対応、進路指導・自立活動の指導の充実を計る。

- (1) 研修会の実施。小学部英語科、特別な教科道徳について、指導主事の指導を受け充実を図る。
- (2) 自立活動支援チームによる、個別の指導計画を含む自立活動全般の状況を把握し改善を図る。
- (3) 早期支援の段階から将来への展望が描ける進路支援を行う。

【重点3】視覚障がいの認知の推進を行う。

- (1) 点字ブロック啓発活動等、児童生徒も一緒に広報活動を行う。
- (2) 「ポツポツ旬間」を活用し、視覚障がいの理解を深める。更に他障がいについての理解も深める。
- (3) 地域社会に貢献する活動を行い、視覚障がい者の気構えや能力を発信していく。

【重点4】視覚障がい教育センター、及び視覚障がいスポーツセンターの活動振興を行う。

(*県の重点「小中学校とのシームレスな関係の構築」)

- (1) 校外への早期支援を充実させる。また、地域で学ぶ幼児児童生徒への定期巡回と情報提供、デジタル教科書を使って学ぶ児童生徒への支援を強化する。
- (2) フロアバレーボール全国大会出場と北信越盲学校卓球大会6連覇に向けて、指導体制、練習環境の整備を行う。
- (3) 信大、松大、卒業生、スポーツ愛好家との連携を深め、視覚障がいスポーツの拠点化を進める。

【重点5】盲学校応援団との連携強化、地域学校協働活動を充実させる。

(*県の重点「社会をインクルーシブに変革」)

- (1) 学校応援団同代表者との月1回の意見交換の場を設け、願いが合致する機会を増やす。
- (2) 幼児児童生徒の安全安心と学びを支える協働活動を推進する。